



奉仕を通じて
平和を

クラブ運営方針 小さな奉仕を重ねよう、大きな目標のために

2012-2013年度

広島北ロータリークラブ週報

2013年6月20日発行 Vol. 1355

国際ロータリー会長 田中 作次 氏
国際ロータリーテーマ
奉仕を通じて 平和を
Peace Through Service

■会長 水野 勝 ■幹事 山内 盛利
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530
E-Mail:hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/
例会場 ホテルグランヴィア広島

■本日の例会 2013年6月20日(木) 第2137回
ロータリーソング 「手に手つないで」
お客様ご紹介 ローター家族親睦委員会
会長時間
幹事報告
委員会報告等
ニコニコ箱
臨時総会
卓話時間 会長 水野 勝 会員
『退任挨拶』

前回例会報告 2013年6月13日(木) 第2136回

ロータリーソング 「われらの生業」
お客様ご紹介
誕生日お祝い
連続出席表彰
会長時間
幹事報告
委員会報告
ニコニコ箱
卓話時間 理事役員委員長
『退任挨拶Part2』

会長時間 会長 水野 勝

私の年度も最終月となり、大之木ガバナナーがMonthly Letterで言われているように、ようやく終わるのかという感じより、もう終わるのかという感じがいたします。これも正副幹事、副会長をはじめ、会員の皆様の温かいお支えによるものと感謝の気持ちでいっぱいでございます。

先週6日のロータリー情報委員会では、夜間インフォーマル・ミーティングを開催していただき、入会3年未満の方々には先輩とのface to faceでの話し合いを通じて、しっかりと親睦を深められ、同時にロータリーについて勉強になったのではないかと感じております。

また本日は入会予定の横田さんについて新会員ロータリー情報が行われました。私も入会時にはロータリーについて全く分かっていませんでしたが、横田さんには少しずつロータリーについて知識を深めていただきたいと思います。

皆様もよくご存じのように、ロータリーが始まった初期の段階では奉仕という概念はなく、会員同士の助け合いや情報交換のみの親睦団体でした。しかしこの親睦だけの仲良しクラブでは将来に向けて持続は危うい、という危機感から、何か世のために役に立つことをしなければ、という対社会的な考えが生まれました。これが奉仕の概念に発展しました。こうしてシカゴから始まったロータリーは親睦と奉仕を基本概念として全世界に広がりました。

大之木ガバナナーと言われるように単なる「感性的親睦団体」から

奉仕の理想(今は奉仕の理念といわれていますが)、これを目指す「精神的親睦団体」になったのでございます。ややもすれば昨今は感性的親睦のみに流されやすい傾向にありますが、ロータリーアンとしてはいつも奉仕の概念をもって行動したいものです。

連続出席表彰



左から、3年島本会員、5年塩本(能)会員、8年下前会員・中根会員、18年山坂会員

誕生日お祝い



神農会員
おめでとうございます。

幹事報告

幹事 山内 盛利

- *ロータリーの友誌 (BOX配布)
- *創立45周年実行委員会組織表 (BOX配布)

委員会報告

- 会報IT委員会 鈴木会員
- *ロータリーの友誌6月号紹介
横書きP13『Eクラブの特性を生かして』
- 次年度幹事報告 久保(豊)会員
- *創立45周年実行委員会組織表について
- *連続出席表彰バッジについて
- 次年度新世代奉仕委員会 島田会員
- *次年度RYLAのご案内

2013-14 年度RYLAのご案内
(ローター-青少年指導者養成プログラム)

テーマ

「交流と転換の舞台 関門の流れに君は何を想う」

日時 : 11月23日(土・祝)～11月24日(日)泊2日
初日会場及び集合先 : 赤間神宮 竜宮殿
宿泊 : 下関市営国民宿舎「海峡ビューしものせき」
参加資格 : 広島・山口県下の18歳から30歳までの各クラブ会長が推薦する者

これまでも RYLA では、「平和」というテーマについて考えて参りましたが、今回の RYLA でもその「平和」というキーワードを踏襲し、国際交流と歴史豊かな『交流と転換の舞台』であるまち『下関』で若者がリーダーシップスキルと人格を養いながら、しっかり「平和」について考えることを予定しています。

まずフィールドスタディとして、下関の平和に関する歴史探訪をして頂いた後、当日は韓国の食や文化、芸能を体験できる「リトル釜山フェスタ」が JR 下関駅周辺で開催されますので、そちらのイベントに参加していただくことを予定しております。

また講師として、コミュニケーションスキルに詳しい広島経済大学教授 中村 克洋氏、国際交流と下関の歴史に詳しい梅光学院大学教授 倉本 昭氏をお招きする予定です。

※詳細は次年度新世代奉仕委員会又は事務局に問い合わせ下さい。

佐藤会員 岩森会員、石田会員、畑会員、島本会員、皆様のお陰をもちまして、無事に申請書類を提出させて頂く事が出来ました。本当にありがとうございました。

洋北山歩隊(土井会員・高原会員・久保田会員・庄子会員・石井会員・本田会員・山内会員) 9日(日)洋北山歩隊は廿日市経小屋山登山に行つて来ました。広島湾、宮島を見下ろす素晴らしい風景と、山頂でのBBQパーティーは最高でした。

中尾会員・中嶋会員 所用の為、途中で退席します。

当日計 29,000 円(内、web1,000 円) 累計 1,492,200 円
★=10,000 円 ☆=5,000 円 ◆=3,000 円 ◇=2,000 円

卓話時間

『退任挨拶Part2』



会員選考委員長 榎殿 透 会員

前年度の引継ぎの方が1名、本年度は5名で計6名の会員選考をさせて頂きました。一年間、多数のご推薦を頂きありがとうございました。無事、役目を終了できましたことに感謝いたします。



理事・奉仕プロジェクト常任委員長 塩本能尚 会員

奉仕プロジェクトは、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・新世代奉仕の4つの委員会ですが、今年度1年間、事業の方は委員長さん中心で、私はほとんどお役にたててないし、またこれから各委員長さんが1年を振り返られると思います。

じゃあ何をやったかと言うと、先般の被災地訪問で、仙台の国分町での飲食のとりまとめで、ローターカードの限度額いっぱいまで使ってきたことが特筆される

ぐらいです。申し訳ありません。

それと5月の「平和フォーラム」では、実行委員となりましたが、クラブの多数の皆様のご協力を得て無事北クラブノ割当分を務めることができました。お礼と共に退任挨拶とさせていただきます。

社会奉仕委員長 迫 慎二 会員

本年度、社会奉仕委員長を務めさせていただきました。社会奉仕委員長は2回目の経験でしたが、「社会奉仕」という事業は探せばいくらでもあると思う反面、考えれば考えるだけ奥が深く責任の重い事業だと思います。今年度は特別養護老人ホーム「悠々タウン江波」に車イスを寄贈したことと「東日本震災支援事業」として気仙沼南RCと連携をとり軽トラックと漁具一式を寄贈しました。振り返ればたった

これだけしかしていませんが、それぞれの中身は濃い内容でした。反省点としてはもっと委員会を開催して意見交換などを活発にして交流を深められなかったことが申し分けなく思います。至らぬ委員長でしたが一年間どうもありがとうございました。



職業奉仕委員長 菅 雅則 会員

恒例の「四つのテスト」唱和を委員会全員で行いましたが、先週の第一例会では私マニュアルを見ずと思いましたが二行のはじめの言葉を見てしまいました。手元にあるとつい見てしまいます。

2回の職場訪問例会では上河内会員の協力により修復された広島東照宮を訪問し宮司様の話を聞きすばらしい建物を見る事が出来ました。又、タイミングよく92年ぶりに開催された「広島菓子博」について中川会員御子息様の説明を聞き会場見学出来ました、有難うございました。昨年作成された会員会社紹介冊子については今後新会員の追加を行う事が有効活用に繋がると思います。

ニコニコ箱

ニコニコ委員会

【自主出室】

水野会員・増田会員・山内会員・石井会員・島本会員 入会予定者としてゲストでお越しの横田則夫さん、ようこそ。例会を楽しんでお過ごし下さい。

山坂会員 先週6/6ローター情報委員会で入会3年未満の会員を囲む会を開催したところ、多くの会員の皆様に参加頂きました。大変ありがとうございました。

鈴木会員 今年度のローターの友誌紹介が最後でした。ありがとうございました。

土井会員・山内会員 本日、退任挨拶をさせていただきます。一年間ありがとうございました。

深川会員 新世代奉仕委員長として退任挨拶させていただきます。一年間どうもありがとうございました。

神農会員 姉妹クラブ友好特別委員長を退任します。1年間ありがとうございました。

菅会員◇ 本日、退任挨拶をさせていただきます。一年間、皆様の御協力に感謝致します。

中根会員 本日退任挨拶をさせていただきます。ローター財団常任委員会に一年間ご協力頂き有難うございます。連続出席についてもあわせて出室させていただきます。

合田会員 本日、プログラム委員長の退任挨拶をさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。

下前会員 ようやく8年これからも頑張ります。

塩本(能)会員 連続出席表彰ありがとうございました。やっと5年になりました。

杉町会員 皆様のお陰を持ちまして「パティスリー京香」も7周年を迎える事が出来ました。これからもご愛顧の程宜しくお願ひ申し上げます。又、退任挨拶も宜しくお願ひ致します。

至らぬ委員長を助けて頂いた塩本理事。越智副委員長をはじめ委員会の皆様に感謝致します。



国際奉仕委員長 久保豊年 会員

本年度は、水野会長の計画であるポリオプラスへの貢献というテーマに沿って、ローターカードの取得と使用の推進を唯一の活動としました。皆様のお陰をもちまして多くの会員がカードを取得していただき、しっかりと使用していただいています。次年度も引き継がれるということで大変嬉しく思います。一年間有り難うございました。



新世代奉仕委員長 深川泰志 会員

新世代奉仕委員会では昨年度から復活した委員会なのですが、昨年度だけで終了する活動ではなく継続性をもった活動を通じて青少年の社会奉仕活動への支援を行っていかうということで昨年度同様広島三育学院への支援をおこないました。9月13日は卓話時間をいただき、ハンドベルの演奏ならびに海外での奉仕活動の報告をしていただきました。そして12月13日にはクリスマスチャリティコンサートへの支援を行いました。彼らはクリスマスチャリティコンサートを行うことによって口唇口蓋裂の患者への支援をおこなっております。昨年度よりは多くの方に見に来ていただいたのですが、もう少し多ければよかったなど反省しております。また、9月22日・23日に行われたRYLAでは当クラブから1名の若者に参加いただき、廿日市RC主催により宮島において歴史と平和についてのディスカッションを行いました。



理事・ローター財団常任委員長 中根弘幸 会員

当初、財団プログラム委員会と米山奨学委員会の各委員長をどなたにお願いするか悩みました。米山はすぐ杉町委員長にお願いする決断ができたのですが、財団プログラム委員会は悩みました。というのは、未来の夢計画というのがあるらしく、その中身が分からなかったからです。ここはやはり勉強熱心な方ということで、岡部会員にお願いしました。この一年間の活動を見ると、両委員長にお願いしたのは大正解と思います。財団という、どうしても寄付をお願いする委員会ということになります。毎年毎年寄付をお願いするのは心苦しかったのですが、今年度も皆さんに特別寄付をお願いさせていただきました。幸いにして、ほとんどの方が快く寄付をしてくださり、地区の年間目標を達成できたとの報告を受けています。本当に有り難うございます。未来の夢計画には、新地区補助金とグローバル補助金の2つがあるようですが、北クラブ単独というより、他のクラブ又は他地区との共同での奉仕活動を予定しているようです。スケールの大きな奉仕活動を前提としているようですから、次年度の財団担当者には、是非スケールの大きな活動をお願いして、私の退任挨拶とさせていただきます。



財団プログラム委員長 岡部知之 会員

皆様のお蔭を持ちまして、1人当たり平均120米ドルのローター財団寄付金を達成できました。皆さまの財団に対するご理解の賜物と厚く御礼申し上げます。また、4月にお願いしました「END POLIO NOW 広報キャンペーン」のも多数ご協力いただきました。すでに皆さまの「もう少し写真」は全世界にRIのHPを通して配信されています。合わせて御礼申し上げます。

就任時は、財団の知識もなく手探りでスタートしましたが、様々な当委員会活動を通して少しずつ知識を深めることができました。しかし、まだまだクラブに貢献できるレベルではありませんので、今年度の経験を活かし、今後配属が違っても財団についての理解を深めていきたいと思っております。

この1年を通して学んだことは「財団の補助金は、我々が活用する権利がある」ということでした。そもそも財団の源泉は我々の寄付です。

それが巡り巡って申請された奉仕活動の補助金になります。申請が面倒、大した金額が出ないのなら短期で事業を計画しなくてもいいと思いがちですが、それが間違っているということが理解できました。いかに申請しやすく、またできる限り大きなみんなのためになる奉仕事業を成し遂げるため、本来であれば財団プログラム委員会とは重要なポジションなのだと思います。この1年はその理解に留まりましたので、ぜひ次年度委員長はこれを踏み台として、本来の財団プログラム委員会の存在価値を高めてもらいたいと思います。



米山奨学委員長 杉町 孝 会員

今年度は残念ながら、米山奨学生の引き受けがありませんでした。しかしながら、水野会長が掲げた、「小さな奉仕を重ねよう、大きな目標の為に」をスローガンに、委員会では特別寄付のお願いや100万\$の食事など、会員皆様のご理解とご協力を賜り、地区目標の16,000円を達成する事が出来ました。本当に有難うございました。

次年度にかけては4月に米山奨学生も決まり、次年度栗屋委員長が当委員会を盛り上げていかれることと思います。引き続き皆様のご理解とご協力をお願い致しまして、退任挨拶とさせていただきます。一年間有り難うございました。



姉妹クラブ友好特別委員長 神農 洪明 会員

この委員会の歴代委員長を調べてみますと、会長経験者の方たちばかりであります。24回目を迎えた調印式には、歴史の重みがあり、又、いかに京都伏見RCとのお付き合いを大切にしてくられたが、ヒシヒシと私に伝わってきて、なぜ私なのかと大変なプレッシャーでありました。

副委員長に岡部会員、委員会のメンバーには山本(忠)会員、福田会員、久保田会員・中尾会員、とこの委員会を育ててこられた会員の方々が委員でありましたので、いいアドバイス等をいただき、又、観光先が越智会員の生まれ故郷とゆうことでスムーズに、行事を行うことが出来ました。そして岡部副委員長、委員会のメンバーの方たちには、出来の悪い委員長で有り、無理難題を押し付けましたが、ご協力いただきまして心より御礼申し上げます。有難うございました。



会計長 土井洋二 会員

皆様のご協力により、なんとか終わりをむかえそうです。会計、経理など自分の会社でもよくわからない私が、つとまるのかと心配でしたが、山内幹事、畑副会計長、逢坂事務局員、会員みなさんのご配慮によりなんとかこぎつけることが出来たように思います。決算報告については、ご存じの通り7月になりますが、それぞれの委員会が、多くの事業を消化してこれ、それぞれの成果をおさめてこれました。そんななか何とか決算も、年度初めに計画されました予算と、大きな変動もなく決算ができるものと、よろこんでおります。一年間まことにご協力ありがとうございました。



副会計長 畑 秀樹 会員

本日は、退任挨拶という事ですが、実は私は、退任させて頂くことが出来ず、本来なら副会計を担当される予定でした三宅会員が休会をされた関係から、留任という事になりそうです。就任挨拶の際に、「土井会計長を陰ながら支えつつ、とにかく1年間、土井さんが、怪我なく、事故なく、また、ご病気などされませんようにお祈りするのが副会計である私の役目ではないか」とご挨拶をさせていただきましたが、多少のご病気はされましたが、何とか無事に1年を終えることが出来そうです。

1年間どうも有り難うございました。そして、次年度も宜しく願いいたします。



副幹事 石井清司 会員

入会10年にしてやっと副幹事を勤めさせていただきました。これまで、ズット委員長か副委員長の役はこなしておりましたが、今年は好むと好まざるとに係わらず、ほとんどの行事に参加することになり、結果としてとても良い経験と多くの勉強をさせていただきました。

理事会で議論されるローターの運営全般、幹事連絡協議会での調整事項、姉妹クラブとの交流、各小委員会の事業内容等々・・・勉強になることばかりでしたが、中でも一番勉強になったのは、これまで如何に多くの諸先輩方が北クラブの発展に尽力して来られたかと言うことです。お昼の例会に出席して、時々委員会活動や同好会に参加するだけでは分からないローター奥深さを実感出来た1年間でした。



副幹事 島本章生 会員

水野会長の下で副幹事を務めさせていただきました。最初は役割もよくわからないままスタートし助けられ続けた一年間という感じでした。副幹事をしてよかったことは多くの人と話ができたことです。水野会長は人格がとても優れていて自分の人格形成の模範としていきたく、増田副会長には益々RCでも活躍していただきまた遊びも教えてもらいたいし、

山内幹事は仕事も勉強もスポーツもできて優秀ですから所狭しと活躍してほしいです。石井副幹事には不都合を助けていただきとても感謝しております。

最後に、「一生において北RCの会員の悪口を言わない考えない」ことを約束します。一年間ありがとうございました。



理事・幹事 山内盛利 会員

クラブ幹事という大役を無事に果たすことが出来たのは、いや正確に言うと、間もなく果たせそうなのは、水野会長をはじめとする、副会長・副幹事の執行部の皆さん、理事会構成メンバーの皆さん、そしてクラブ会員のみんなのご指導とご支援が有ったからこそであります。皆さん、本当に有り難うございました。

振り返りますと、幹事就任の歴史は、2年半前のクリスマス家族会の時にまで遡ります。

その月初めの年次総会で、次次年度会長エクストとして承認された水野さんに呼び止められ、「山内君、僕の年度の幹事をやって貰えないか？」とお話を頂きました。ローターに「NO」は無い、という大原則の下、私は一つ返事で「かしこまりました」と返事をさせて頂いたものの、内心は「こりゃ大変なことになったな・・・」というのが正直な気持ちでした。それまで鶴飼会長・影田幹事、榎殿会長・山下正司幹事の下で2回ほど副幹事を務めてはいましたが、その時には敷かれていたレールの上をただ進むというだけであり、ローターの表面的なことしか解っていなかったと思います。

そして時が過ぎ、その年の12月の年次総会で被選理事・役員が承認されるという一昨年の夏、いよいよお尻に火がつき、いよいよ「何とかなる」ではなく「何とかしなきゃいけない」という段階になった時、心のスイッチがオンになりました。

幹事就任挨拶の時にも話をさせて頂きましたが、元来私は、「人生やったもん勝ち。何もしないで後悔するよりは、やって後悔しよう。」という考えの持ち主です。故に、失敗しても良いから、とにかく何でもチャレンジ精神でやってみようという風に考え、それを自分自身のエネルギー源にしてやろうと考えました。

この考えが功を奏したのは、水野会長がクラブ運営の全てを「山内君、任したよ」と背中を後押しして下さったからであります。

思い込みが強く、走り出したら余り周りが見えなくなる悪い癖を持つ私ではありますが、水野会長は、そんな私を広い心で受け止めて下さり、自由に泳がして下さいました。その意味に於いて、私は器の大きな水野会長の下だったからこそ、クラブ幹事という役をこなせたのではないかと感じています。

水野会長、本当に有り難うございました。

自分の評価は自分がするのではなく、人様が、世間様がするものであります。広島北ロータークラブ2012-13年度という舞台の上で、幹事という役を無事に果たすことが出来たか否か、その評価は皆さんにして頂きたいと思います。

只、自分としては、この舞台から降りるにあたり、大いなる充実感があります。細かい事を言えば、ああすれば良かった、こうすれば良かったという部分はありますが、一言で纏めれば、この役を担って良かったという自分自身の思いに偽りは有りません。

もう二度とすることが無い幹事役ではありますが、この役を演じる機会を与えられて、ローターライフを自分なりに楽しむことが出来、本当に良かったなと思っています。



プログラム委員長 合田尚義 会員

クラブに入会して初めての委員長職、且つプログラム委員長という大役の指名を頂きました際には、大きな不安と緊張感、そしてプログラムを早く埋めて行かなければ、という追われる様な気持ちでいっぱいでありました。

しかし、坪内常任委員長、岡部副委員長、委員会メンバーの皆さんの親身なるご指導とご協力の元、何とか無事に務めさせて頂くことができ、今は一仕事を終えた充実感に満たされており。本当にありがとうございました。お世話になりました委員会の皆様、クラブ会員の皆様に、心より感謝を申し上げます。

規定審議会報告

2013年4月21～26日、アメリカ・イリノイ州シカゴで、規定審議会が開催されました。世界の532の地区から528人の代表議員が出席して(日本からは34地区の代表議員全員が出席)、立法案を審議しました。

審議の結果は、国際ローター(RI)事務総長から、2か月以内に全クラブに送られることになっていますが、変更された「国際ローター定款」「国際ローター細則」「標準ロータークラブ定款」は、本年7月1日施行となります。

また、「標準ロータークラブ定款」は、クラブ名、所在地域を入れて、そのまま新しい定款を採用することになります。「ロータークラブ細則」は、新しい「国際ローター定款」「国際ローター細則」「標準ロータークラブ定款」に矛盾しないようクラブで検討し、「ロータークラブ細則」の変更手続きに従って変更をすることになります。

『ローターの友』6月号に今回の規定審議会のレポートを掲載しますので、併せてご覧ください。

※審議の結果はRIホームページで発表されております。是非、ご確認ください。

※新しい手続要覧が発行されましたら皆様にお配りいたします。(ロータージャパンホームページより抜粋)

■出席報告

2013年6月13日(木) 会員数 80名

出席 71名 欠席 9名

来賓 0名 来客 1名 ゲスト 1名

5月30日例会出席率 98.68%

5月度平均出席率 98.39%

■来客紹介 ローター家族親睦委員会

谷崎 續 様(広島安芸)

横田 則夫 様(次回入会予定者)

■次回例会 2013年6月27日(木) 18:00～

『2012-13年度最終夜間例会&新会員歓迎懇親会』